

〈算数科〉 3年

現在の分析

〈算数への関心・意欲・態度〉

- ・少人数のクラス編成の方が、発言や質問により積極的になる傾向がみられる。

〈数学的な考え方〉

- ・自分の考えを図や文で表すことができる児童が多い。

〈数量や図形についての技能〉

- ・四則計算を正しく処理できる児童がほとんどだが、身に付いていない児童もいる。
- ・時間の求め方が身に付いていない児童がいる。

〈数量や図形についての知識・理解〉

- ・長さの単位換算や2学年で学習した図形の名称など、学習を終えて間が空くと忘れてしまっていて、定着しない事項がある。

重点課題

〈算数への関心・意欲・態度〉

- ・教わって覚えたりできるようになったりしようという態度から、既習事項を生かして問題を解こうとする態度への変容。

〈数学的な考え方〉

- ・題意をつかみ、「分かっていること」「求めること」を整理したり、図に表したりすること。
- ・様々な考えの中から、よりよい考えを価値づけすること。

〈数量や図形についての技能〉

- ・計算を工夫したり、検算をしたりして正確に計算することができること。
- ・定規やコンパスの使い方を身に付けて正確に図形をかくこと。

〈数量や図形についての知識・理解〉

- ・10000までの数・小数・分数のしくみや2位数×2位数、あまりのある除法、重さや長い長さの単位、三角形の定義や弁別など、基礎的事項の定着。

授業改善策

〈算数への関心・意欲・態度〉

- ・児童が主体的に取り組めるような単元計画の工夫。
- ・ICTを活用し、視覚に訴えるような活動を取り入れる。

〈数学的な考え方〉

- ・児童が多様な考えを「もち、対話的な活動によってよりよい考えを求めていくような授業展開の工夫。
- ・ICTを活用し、友達のノートを書画カメラで投影したり、子どもたちのさまざまな考えの一覧を映し出したりする。

〈数量や図形についての技能〉

- ・授業やスキルアップ学習の時間において反復練習をする時間を保障し、計算ドリルを活用して家庭学習を習慣づける。

〈数量や図形についての知識・理解〉

- ・スキルアップ学習。家庭学習のドリル・単元ごとのテスト・テスト直し学期末のまとめテストなど、基本的な事項については繰り返し確認し、定着を図る。